

## 目標達成計画

作成日: 令和 6年 3月 27日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成 に要する 期間
1	4-③	運営推進会議での議事内容が、事業所からの行事報告のみに留まっていて、参加者から出た質問や意見をまとめ話し合う事ができていない。	事業所報告は内容を多面化し、参加者の質問や意見を反映できる運営推進会議にする。	事業所報告は行事だけでなく、事故・ヒヤリハットや入居状況等報告する。参加者の意見を参考にし次の運営推進会議に反映していく。	実施済み
2	6-⑤	身体拘束適正化に関する委員会・研修と虐待防止の委員会・研修は、区別して実施する仕組み作りが行えていない。	身体拘束適正化に関する委員会・研修と虐待防止の委員会・研修は、区別し、職員の意識を高めていくようにする。	令和6年度から虐待防止に関する指針の策定と研修の実施が義務化になることから、虐待防止にも重点をおく。研修開催に制限があり増やすことが難しいが、研修方法を講習だけでなく、書面による勉強会の導入も検討していく	3ヶ月
3	35-⑬	課題を整理した訓練記録の整備が不十分。地域住民と連携が行えていない。	実際の災害時に円滑に行えるような訓練を実施する。地域の方と家族の方々の協力を得られるように運営推進会議などを通じて地域との関わりを強める。	防災訓練の反省を次回の防災訓練に反映していく。防災訓練の様子を記録に残す。コロナ前までは地域の防災訓練に参加していたが、コロナ後参加できていない為、感染レベルを考慮し可能であれば地域の防災訓練へ参加していく。	3ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。